

ランチタイム コンサート

⑩ NHK音楽祭 秋のパークコンサート

“サスティナブル・ジャズ”
～未来のジャズ界を担う若者たちの競演～

会場：代々木公園（ケヤキ並木）@渋谷区くみの広場ふるさと渋谷フェスティバル内

11月5日(土) 12:15~13:00
中山拓海カルテット

出演：中山拓海(サクソ) / 鈴木直人(ギター) /
山本裕之(ベース) / 柿沼佑育(ドラムス)

11月6日(日) 12:15~13:00
SAX CATS

出演：藤瀬友希(ソプラノサクソ) / 瀬野冴香(アルトサクソ) /
新村未都(テナーサクソ) / 高木沙耶(テナーサクソ) /
本藤美咲(バリトンサクソ)

お問合せ：渋谷区文化振興課 TEL.03-3463-1142 (平日8:30-17:00)

※都合により出演者に変更のある場合がございます。
※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により中止になる場合がございます。
※雨天、荒天の場合は中止になる場合がございます。
◎最新の情報は、ホームページにてご確認ください。

「おんがくでみんながつながるしぶや」とは <https://www.ongakude-tsunagaru.com>

多様性を尊重する街、渋谷。様々な個性を受け入れることで、新しい文化が生まれてきた街でもあります。そして渋谷では毎日、街のどこかで個性豊かな音楽が響いています。その音がひとつひとつつながることで、新しい渋谷カルチャーを奏でます。



入場無料

主催 渋谷区

くみの広場 ▶ <https://www.shibuya-fes.online/>

11月5日(土)12:15~13:00 中山拓海カルテット

中山拓海(サクソ)／鈴木直人(ギター)／山本裕之(ベース)／柿沼佑育(ドラムス)
2019年キングインターナショナルよりメジャー・デビューを果たし、2021年ゲイであることをカムアウトした新進気鋭のサクソ奏者・中山拓海率いるカルテット。

中山拓海(サクソ)



©Tomoko Hidaki

1992年静岡県富士市に生まれる。国立音楽大学を首席で卒業。大学時代、早稲田大学ハイソサエティオーケストラに在籍しヤマノ・ビッグバンド・ジャズ・コンテスト最優秀賞を2年連続受賞、並びに最優秀ソリスト賞受賞。ロサンゼルスで開催されたグラミー主催、「グラミーキャンプ」に日本代表として全額スカラシップを受け参加。多国籍ジャズオーケストラAsian Youth Jazz Orchestraにてコンサートマスターを務め、アジア六カ国でツアーを行う。アゼルバイジャン共和国で開催されたバクージャズフェスティバルに自身のバンドで出演するなど国内外にも活動の幅を広げる。2017年ジャズ雑誌「JAZZ JAPAN」の「2010年代に頭角を現した新鋭アーティスト60」に選出される。2019年4月、渡辺貞夫クインテット2days新宿ビッグイン公演に渡辺貞夫氏 本人によりゲストとして呼ばれ参加。同年12月CD「たくみの悪巧み」でキングインターナショナルよりメジャーデビュー。ジャズ国内アーティストとしてキングインターナショナルからのリリースは史上初となる。2021年ゲイであることをカムアウト。
株式会社JAZZ SUMMIT TOKYO代表取締役



瀬野 冴香(アルトサクソ)

愛媛県今治市出身。中学の吹奏楽部よりサクソスを始める。洗足学園音楽大学卒業。在学中はクラシックサクソスを学び、現在は都内を中心にライブやレコーディング、サポート、レッスン講師など様々なジャンルで活動中。サクソスの他に、フルートやクラリネットを演奏する。

藤瀬友希(ソプラノサクソ)

1988年12月生まれ。神奈川県藤沢市出身。在住。中学のクラブ活動でサクソスを始める。2009年洗足学園音楽大学ジャズ科に入学。在学中からプロ活動を行う。サクソスをボブ・ザング氏、多田誠司氏、ジャズ理論をユキ・アリマサ氏、編曲を谷口英治氏に師事。卒業後は自身の夢であった、ジャズを初めて聴く子供達にジャズを楽しいものだと思ってもらおうと、ビッグバンド「アルパカジャズオーケストラ」を結成。全国各地の小中高校への藝術鑑賞会、地方公共団体の藝術鑑賞会へ向かい、様々な編成でジャズコンサート、ジャズ講義を精力的に行う。(2018年にバンドは解散)。現在はニューオリンズプラスバンドやジャズコンボ、ビッグバンドなど、多岐に渡り活動する。またジャズサクソ5重奏「SAXCATS」のソプラノサクソ担当であり、同バンドでサクソ専門誌「Sax World」にアレンジ提供を行っている。



鈴木直人(ギター)

1976年生まれ。4歳からクラシックピアノ、6歳からヴァイオリン、12歳からドラム、13歳よりギターを始める。2004年 Gibson Jazz Guitar Contest優勝。2010年 Jazz Session on YouTube 2009-10にて最優秀ギタリスト賞受賞。2014年 Diners Club Social Jazz Session 2013-14にて優秀者に選ばれブルーノート東京でリーリトナー氏と共演。リーリトナー氏の選考により最優秀者賞受賞。同年Lee Ritenour's Six String Theory World Competition of the Jazz/Fusion Guitarist部門にて世界第4位獲得。関東のジャズライブハウスでの演奏を中心に様々なアーティストのセッションやサポート、レコーディングに参加。海外のジャズフェスティバルに多数出演。これまでにフランス、イタリア、スイス、マレーシア、中国、カナダ、インド、香港、台湾、韓国で演奏。



新村未都(テナーサクソ)

石川県出身。5歳からエレクトーンとピアノを始める。中学校より吹奏楽部でチューバとユーホニウムを始め、高校からテナーサクソスを始める。洗足学園音楽大学のジャズコースへ入学後は、学校選抜のビッグバンド「Get Jazz Orchestra」などに所属。その他、「小曾根真 presents JFC BigBand」で、東京JAZZに出演。同じく小曾根真 presents JFC BigBandにて、「the 5th JAZZ JAPAN Award Ceremony」に出演。YUZU ONLINE LIVE 2021 YUZUTOWN/ALWAYS YUZUTOWNに出演。クラシックサクソを中田真砂美氏、ジャズサクソを佐藤達哉氏、川嶋哲郎氏に師事。参加レコーディング: ポセイドン・石川「City-Pop-City(REMIX Ver)」, 川嶋哲郎「Water Song」。主な共演ミュージシャン※敬称略: エリック宮城、おぼんこぼん(おぼん)、川嶋哲郎、目野皓正、ナポレオンズ(ボナ植木)、ボセイドン・石川、ユッコミラー、ゆず。現在、都内ライブハウスやレコーディング、サポートなどで活動中。

山本裕之(ベース)

1985年5月31日、ピアノ調律師の次男として山口県で産まれ育つ。幼少の頃よりピアノを習う。高校在学中に地元山口県防府市bar印度洋でノイズ、プログレ、ロック、インプロ、民族音楽、ジャズなどの音楽に触れ感銘を受ける。その頃にエレキベースを始め、印度洋で知り合った三人のドラマー山本達久氏、一楽志幸氏、弘中聡氏とバンドを組み、様々なイベントやライブを行う。その後両親の影響で少しずつソウルミュージックやジャズに傾倒し、高校卒業後ピアノ調律師を継ぐかベーシストの道を選ぶが自分の体にフィットしたベーシストの道へ進むことを決める。18歳から東京に拠点を移しコントラバスを斉藤誠氏に師事。ドラマーの力武誠氏、ピアニストの荒武裕一朗氏のバンドに抜擢された事をきっかけに様々なジャズバンド、セッションを経験する。2012年に小林岳五郎と共にクラブジャズユニットROOM56を結成。アルバム「Hit the Devil」リリース。イギリスのSOULandJAZZ.comレーベルやイタリアIRAMレーベルに楽曲提供した他、Gregory Porterのremix盤アナログレコードにHit the Devilが収録される。その後、サポートベーシストとして、「平方元基」「結城安浩(ESCOLTA)」「朝丘雪路」「クミコ」「竹島宏」「石垣優」「荒山リクfromのあのわ」「井手麻理子」「Hiro-a-key」「佐々木秀実」などのアーティストのレコーディングやライブサポートに参加。2017年よりジャズピアニスト山中千尋の国内ツアー、ライブに参加している。東京交響楽団(指揮 原田慶太郎)と共演の他、NHK総合「あさいち」、BSジャパン「音楽交差点」、テレビ朝日「題名のない音楽会」に山中千尋Trioの演奏で出演する。



高木沙耶(テナーサクソ)

10歳からサクソスを始める。その後、洗足学園音楽大学に入学し、2年までクラシックを、3年で転科し、ジャズを学ぶ。現在は都内を中心にライブ、サポート、レッスン、スタジオワークなど勢力的に活動をしている。



本藤美咲(バリトンサクソ)

1992年生まれ。音楽家、即興演奏と作編曲の二極を基盤とし、多様な分野のアーティストと共演・共同制作を行い日々触手を伸ばす。「galajapoly」主宰、「Tokyo sound-painting」「SAX CATS」「hikaru yamada and metal casting jazz ensemble」「OTOMO YOSHIHIDE Small Stone Ensemble」 「波さ知らズオーケストラ」などに参加。ライブパフォーマンスの他、録音作品へのアレンジ提供・演奏/広告メディアへの音楽提供/ワークショップなどイベント企画/講師活動/専門誌「Sax World」でのコラム連載などを行う。
<https://www.misaxophone.me>



©Takashi Kanai



柳沼佑育(ドラムス)

1992年福島県出身。2011年に尚美学園大学入学後、木村由紀夫氏に師事。Philly Joe Jonesなどのジャズドラマーに影響を受け、ビバップ、ハードバップスタイルのドラムに特に傾倒する。在学時より、ピアニストの竹内亜里紗氏のグループ、「BeBop Revisited」に参加し、アルトサクソの名手、澤田一範氏をはじめ、様々なミュージシャンとの共演を重ねる。卒業後は、同世代からベテランまで、多数のミュージシャンと共演。現在も様々なバンドで都内を中心に活動している。

〈ご来場のお願い〉 感染防止対策にご協力をお願いいたします。

- 以下に該当される方につきましては、ご入場いただけません。
 - ・来場当日自宅検温し、発熱(37.5℃以上)があった方、公演当日に体調が優れない方。
 - ・新型コロナウイルス感染症の陽性判定を受けている方、自宅待機指示を受けている方。
 - ・新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した方との濃厚接触がある方。
 - ・同居家族や身近な知人の感染が疑われる方。
 - ・政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航及び該当国・地域の在住者との濃厚接触がある方。
- 不織布マスクの着用をお願いいたします。
- 会場設置の手指消毒液をご利用ください。
- お客様同士十分な間隔の確保をお願いいたします。
- 大声による発声・会話はお控えください。
- 代々木公園内での飲食、喫煙は指定された場所で行います。
- 安全なイベント開催のため会場係員の指示に従っていただくようご協力をお願いいたします。



会場
代々木公園(ケヤキ並木)
@渋谷区くみの広場
ふるさと渋谷フェスティバル内